

斎場御嶽の体験学習により、地域に誇りをもつ子どもの育成をめざして

前城盛雄*1、稲福純夫*2、井上透、加治工尚子、眞喜志悦子*3

＜概要＞「地域子どもたちは、地域社会で育てる」をキーワードに、南城市の自然や歴史・文化を学び、地域に誇りをもつ子どもを育てるため、南城市の小中学生を対象に、「世界遺産 斎場御嶽と森のけんきゅう」等の体験活動を行ったので報告する。

＜キーワード＞ 地域社会、教育情報、ボランティア、体験活動、斎場御嶽

1. はじめに

沖縄では琉球処分後の同化政策の名残で、日本復帰前の世代は、小中学校で沖縄のことばを使用することは禁じられていた。沖縄のことばを使うと「方言札」による指導がなされた。このような教育下では沖縄の歴史や文化に誇りをもつことが困難な状況下にあった。現在、沖縄のことばは消滅の危機にあるという。

しかし、最近は子どもたちに「しまくとぅば」（沖縄諸語）を教えることが学校教育で重視されるようになった。沖縄各地で「しまくとぅば」で話す大会が行われるようになってきた。

沖縄のことば、南城市の自然や歴史・文化の学びを通して、沖縄や南城市に住んでいることに誇りを持つことができる子どもを育てる教育活動が重要である。

そのために、「なんじょう♥わらびんちや体験プロジェクト」を企画した。平成24年度は「子どもは地域で育てる」をテーマとして、「セーファウタキと森のけんきゅう」（21人）、「佐敷干潟観察会」（25人）、「神の島・久高島たんけん」（22人）、「カーブヤー（沖縄こども凧）を作って揚げよう」（25人）、「島野菜を知りつくそう」（23人）の自然観察・体験活動を行った。この企画に総数116人の子どもが参加した。本研究では、斎場御嶽の体験学習等により、地域に誇りを持ち子どもたちが学び意欲を高めることを目指した。



2. 体験活動の学習内容

資料1: ワークシート「世界遺産 セーファウタキと森のけんきゅう」

テーマⅠ 斎場御嶽（セーファウタキ）とはどんなところなの？

しつもん1. 御嶽（ウタキ）とは、どんなところでしょうか？

しつもん2. セーファウタキは、なぜ琉球で最高の聖地なのですか？

しつもん3. 聞得大君（きこえおおきみ）には、どんな人がなれたのでしょうか？

しつもん4. 聞得大君（きこえおおきみ）が、就任するための儀礼を何とといいますか？

しつもん5. ウタキの中にある次のイビは、何と呼ぶのでしょうか？また、どんなところでしょうか？

- ① 御門口（ ）
- ② 大庫理（ ）
- ③ 寄満（ ）
- ④ 三庫理（ ）

けんきゅうテーマⅡ 世界遺産って何だろう？

しつもん1. 世界遺産とはなんなのでしょうか？

しつもん2. セーファウタキが世界遺産に登録されたのはいつですか？

しつもん3. なぜ、セーファウタキが世界遺産になったのでしょうか？

しつもん4. 2012年7月現在、世界遺産リストに登録された遺産は何件でしょうか？

しつもん5. 世界遺産の種類は三つです。【 】に記入しましょう。

- ① 【 】：歴史的、芸術的にすばらしい建物や遺跡、ちょうこくや絵画など。
- ② 【 】：すぐれた価値をもつ風景や生き物、地形、森や林などの自然。
- ③ 【 】：両方の遺産の条件を満たすもの。

けんきゅうテーマⅢ セーファウタキの森にはどんな生き物たちがいるでしょう？ 今日けんきゅうで、あなたが観察したものを記入しましょう

*1 MAESHIRO Morio: 沖縄女子短期大学

*2 INAFUKU Sumio: 沖縄女子短期大学

*3 INOUE Tooru, KAJIKU Naoko, MAKISHI Etsuko: 岐阜女子大学

3. 体験活動による子どもたちの変化

平成24年8月12日「セーフアウタキと自然のけんきゅう」(21人参加)の子どもたちは、真夏の強烈な日差しが照りつける中、ワークシートとデジカメ、タオルを手に、汗をふきふきしながら、目を輝かせて「けんきゅう」活動を行った。



「世界遺産セーフアウタキと森のけんきゅう」の体験活動アンケートで子どもたちは、「セーフアウタキと森のけんきゅう」については、良かったが14名、「一番すごいなと思った所や印象に残っていることは、サングーイ(8)、「セーフアウタキ内の一つひとつの拝所の意味が分かった」、「サングーイの中は神々しい雰囲気だった」、「発掘調査で金のマガタマや昔のお金が出てきたことはすごい」、「オオゴマダラのさなぎが金色であることが分かった」、「緑色のカタツムリを初めて見た」、「沖縄戦のころの艦砲でできた砲弾池が印象に残った」などと答えた。

子どもたちのなかには、『世界遺産セーフアウタキと森のけんきゅう』について、「夏休みの自由研究として提出する」、「総合学習の研究テーマにした」等の声もあった。

参加した子どもの一人は、「南城市まつり」の文化協会展示の部会場で、トリノコ用紙2枚に『セーフアウタキけんきゅう』のテーマで、クイズや写真をいれて発表した。「ウタキの中に入ると気持ちよかった」という本人の感想を述べ、写真12枚でサングーイ、アマダユル、シキヨダユルなどについて解説した。また、クイズも設定して、「セーフアウタキとはどんなところ?」「きこえおおきみにはどんなひとがなれた?」などの内容であった。



体験活動参加の証となる「修了証」を授与したが、みんな笑顔で受け取ってくれた(写真)。

資料2: アンケートの内容とその結果 (回答21名)

1. 今日の「セーフアウタキと森のけんきゅう」はいかがでした? 良かった 14、普通 7、良くなかった 0

2. 一番すごいなと思った所や、印象に残っていることはどこでしたか?

サングーイ(8)、金のマガタマ(2)、久高島と沖合のリーフが一直線につながったら台風が来ることがわかった(2)、アマダユル・シキヨダユル、ユインチ、オオゴマダラのさなぎが金色であること、久高島ようはい所、発掘でお金が出たこと、池・植物・虫など、緑のカタツムリがいた、虫がたくさんいた、自然の岩、ウタキの一つ一つに意味があること。

3. 今日のけんきゅう活動は、夏休みの自由研究として学校に提出しますか?

自由研究 4、総合学習 1、課題研究 1、提出しない 12
わからない 11

4. 「わらびんちや体験プロジェクト」で、これからやってほしいことはどんなことですか?

久高島でキャンプ。葉っぱにつくムシのけんきゅう。もっとほかのところもまわってほしい。城まわり。スタッフの自己紹介。お化け屋敷。バスケット。何でもいい。

5. 次も参加したいと思いますか?

参加したい 6、わからない 15、参加しない 0

4. まとめと課題

- (1)新教育基本法では、郷土の文化と伝統を大切に、郷土を愛する心を育てることが重視されている。地域に着目した教育や教材開発が求められている。本研究では次の課題がある。
 - (2)「子供は地域で育てる」といわれて久しいが、実際に取組むとなかなか困難なことである。ボランティアや保護者・学校等の連携と協力体制を構築するために、関係者の意見交換の場が必要である。
 - (3)体験活動の学びの成果について、子どもたちが発表する場を設定することも課題である。また、子どもたち自身が斎場御嶽について案内できるような「キッズガイド」の養成も目指したい。
 - (4)ボランティアのホームページを立ち上げ、体験活動の内容を発信して、地域の自然や歴史・文化について学習することの意義や楽しさを広く伝えることや、子どもたちと意見交換ができるような仕組みを立ち上げることも必要である。
- 平成24年度を取組をもとにして、課題を克服しボランティア活動の充実に努めたい。

〈参考文献〉

- 1)『南城市史総合版(通史)』南城市教育委員会 2010年
- 2)『サイハウタキと自然』一世界遺産普及図書 — 知念村教育委員会 2003年
- 3)『沖縄大百科事典』沖縄タイムス 1983年